

# 1 ワンランク上のまちづくりへ ～第2次糸島市長期総合計画を12月議会へ上程～

第2次糸島市長期総合計画に係る基本構想および前期基本計画について、令和2年糸島市議会12月定例会に上程。計画の策定にあたっては、『糸島市総合計画審議会』をはじめ、『まちづくり市民委員会』『高校生未来会議“いとしま”』『中学生“いとしま”未来への提言（作文）』『市民満足度調査』『パブリックコメント』など市民参画の取組により、市民の想いを込めた計画とした。

## ■基本構想【計画期間：令和3年度～令和12年度の10年間】

- ◎10年後のまちの姿やまちづくりの考え方を示したもの  
⇒将来像やまちづくりの基本方針、将来人口、重点課題、基本目標など

## 将来像『人とまちの魅力が輝く豊かさ実感都市いとしま』

- ◎本市の貴重な地域資源である自然や食、歴史・文化などをさらに磨くとともに、一人ひとりの個性が輝き、つながり合いながら、まちが活気にあふれ、暮らしの豊かさを実感することができるまちを目指す。
- ◎将来像の実現に向け、「3つの基本方針」及びそれに基づく「6つの基本目標」を設定し、本市のまちづくりを総合的・効果的に展開していく。

## ■前期基本計画【計画期間：令和3年度～令和7年度の5年間】

- ◎基本構想に対応した5年間の取組などを示したもの  
⇒基本構想に掲げる重点課題や基本目標に応じた具体的な施策や主な取組など  
(※24の政策と58の施策で構成)
- ◎『持続可能なまち』の実現に向けて、重点的に取り組んでいく必要がある5つの課題を重点課題プロジェクトとして設定し、分野横断的に取組を進めていく。



# 1 ワンランク上のまちづくりへ ～第2次糸島市長期総合計画を12月議会へ上程～

## ■令和12年の糸島市の将来人口を『104,000人』に設定

### 【推計人口】

- ◎人口減少社会の中で、人口は今後も増加傾向にあるが、令和7年をピークに減少に転じる。  
⇒令和12年の推計人口は101,965人となる見込み。
- ◎生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向、年少人口（15歳未満）は令和7年までは増加するが、以降減少に転じる。



### 【将来人口】

- ◎推計人口に、『新たな居住空間の整備』『人口減少地域対策』『子育て支援』などによる政策的誘導人口の増加を2,000人程度と見込み、将来人口を104,000人に設定。
- ◎年少・生産年齢人口の確保、超高齢社会や人口減少地域に特化した対策など、対象者や対象地域を明確にし、効果的な施策や事業に取り組むとともに、来るべき人口減少もしっかりと見据えながらまちづくりを進めていく。



これまで、ブランド糸島の推進、学研都市づくり、子育て支援や高齢者対策など、第1次糸島市長期総合計画に基づくまちづくりを進めてきました。

市民の皆様の多大なるご理解とご協力、あたたかいご支援により、『住みたい田舎 1位』『移住したい町 1位』など、全国的にも高い評価をいただいております。また、イギリスの情報誌『MONOCLE (モノクル)』の2021年『輝く小さな街』ランキングでは、世界の3位にも選ばれました。

第2次糸島市長期総合計画においては、市の将来像の実現に向け、まちづくりの各分野における『ワンランク上の姿』を念頭におきながら、誰もが将来に渡って誇りをもち、暮らしの豊かさを実感できるまちを目指します。

